

ンによるものづくり

人々の意識や価値観・ライフスタイルの多様化

ニーズの多様化

様々な人を想定した使いやすいものづくり

な人

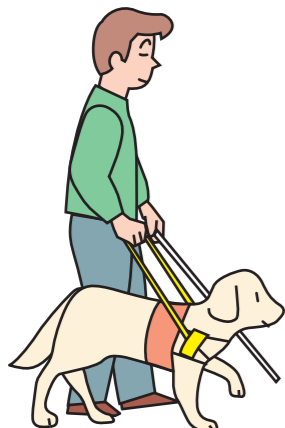
な特性や違いがあります。
ケガをしたりするかもしれませんし、高
たり音が聞こえにくくなったりします。
インの社会の当事者です。



高齢者



車いすを使用する人



盲導犬を同伴する人



赤ちゃん



子ども

作り手(企業)

UDの考え方を取り入れて
みんなが使いやすいものづくり

- 企業のイメージアップ
- 今後市場規模が広がり
新たなビジネスチャンスへ

使い手(ユーザー)

みんながUDの当事者として
UD製品を率先して購入・利用

UD製品が数多く出回り
だれもが暮らしやすい社会の実現へ

●UD製品開発技術についてのご相談 熊本県工業技術センター

電話 096-368-2101 FAX 096-369-1938
e-mail www-admin@kmt-iri.go.jp

●UD製品開発や販路拡大についてのご相談 熊本県商工観光労働部新産業振興課

電話 096-383-1111 (内線 5172)
FAX 096-384-5385
e-mail sinsangyou@pref.kumamoto.lg.jp

●UDに関するお問い合わせ 熊本県総合政策局政策調整課

電話 096-383-1111 (内線 3823)
FAX 096-385-0627
e-mail seisakutyousei@pref.kumamoto.lg.jp



古紙配合率100%再生紙を使用しています



くまもとユニバーサルデザイン UDものづくりガイドブック



荒尾・玉名地域の窯元により結成されている
「荒尾・玉名地域窯元振興会」は、陶器の産地活性化を
めざし、地場産業のあらたな取り組みとして、
UD陶器の開発に取り組みました。

写真は三池焼(玉名郡南関町)
片手でふたを押さえやすいように、ふたの
つまみをずらしてあります。



熊本県

今 求められている ユニバーサルデザイン

時代の
変化

少子高齢社会の到来

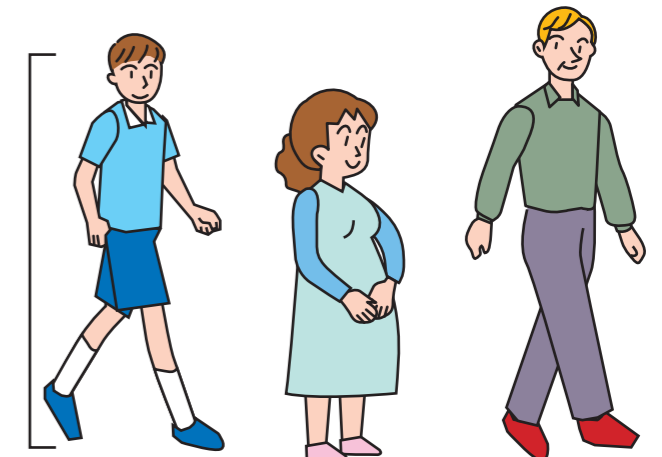
本県の高齢化率 22.8%
(65歳以上の方の割合)
4~5年後は4人に1人が65歳以上

国際化

IT(情報技術)の進展

様々

年齢、性別、身体、言語など、人には様々
また、同じ人でも、重い荷物を持ったり、
齢になれば多くの人が、物が見えにくくなっ
私たち、一人ひとりがユニバーサルデザ



背の高い人

妊婦

外国人



背の低い人

音が聞こえにくい人

ケガをしている人

熊本県のユニバーサルデザインを導入したものづくりの事例

熊本県にも、ユニバーサルデザインの考え方をこれからの企業の経営戦略のひとつと考えて、いち早く導入した製品開発をする企業が増えています。

地場企業と県工業技術センターや県内大学とが協働して製品開発した商品を紹介します。

子どもにも妊娠している人にも高齢者にも、

耳や目の具合が悪い人にも、車椅子の人にも

みんなが **わかりやすい** **使いやすい** UDの
便利・快適 **安心・安全** **ものづくり**

「コンゴ電動棚 省スペース収納システム ハイパワーZアドバンス」

開発チーム: 金剛(株)、(株)コボデザイン、熊本県工業技術センター



「コンゴ電動棚省スペース収納システムハイパワーZアドバンス」

人間工学を研究し、極力シンプルな外観のパネルデザインは、突起物がなく、メイン通路を広く取れ、スイッチの誤操作のないよう工夫されている。

直感的に動く方向がわかる矢をイメージした取っ手など、様々な人に優しいデザインを心がけている。

平成13年度(財)日本産業デザイン振興会主催のグッドデザイン賞及び特別賞である金賞を受賞。

「段差解消伸縮スロープの開発」

開発チーム: ディ・エス大進工業(株)、PPクエスト代表 堀宗行、ジェイディ代表 徳澄幸治、(株)コボデザイン、熊本県工業技術センター



段差解消伸縮スロープ「ディ・エスすい-G」

伸ばして置くだけ、伸縮自在の段差解消スロープ。耐久性が高いアルミ合金使用。最大耐荷重350kgで、2人が同時に乗っても大丈夫。車椅子、介護車椅子、ベビーカー、歩行補助車、子ども、高齢者に安心、安全なスロープを作る。また、必要なときに簡単設置、不要になれば簡単に取り外しができる。

平成10年度(財)日本産業デザイン振興会主催のグッドデザイン賞を受賞。

「県産ヒノキ材による表面加工内装材の開発」

開発チーム: 日進木材工業(株)、そそぎ工房代表 淋正司、(株)コボデザイン、熊本県工業技術センター



製品名称: 檜浪漫内装材ゆらぎシリーズ

県産ヒノキ材を利用し、波のように表面加工された新しいタイプの内装材。壁・天井などに利用すると、照明の方法で陰影が現れ視覚的效果を生み出し、床材として利用すると、歩行感・ノンスリップ性・歩行誘導性などの触覚的效果を生み出す。

平成14年度(財)日本産業デザイン振興会主催のグッドデザイン賞及び中小企業庁長官特別賞を受賞。

「UD陶器」

開発チーム: 崇城大学芸術学部デザイン学科生活環境デザインコース、荒尾玉名地域窯元振興会、熊本県玉名地域振興局



五喜窯(荒尾市)

陶器の持ちやすさを工夫したデザイン、ゴムの取っ手を使用し、握力の弱い人でも、しっかりと持てる持ちやすさを考えたデザイン



西照寺窯(玉名郡岱明町)

高台にシリコンゴムをつけて、滑り止めとなる中鉢。お盆に乗せて運ぶときにも、すべりにくい。テーブルにもキズをつけることがない。



坂下窯(玉名郡南関町)

ストローを固定することで、手の不自由な人でも楽に飲むことができます。